令和５年第１２回野洲市教育委員会臨時会　議事録

○日　時　令和５年８月２２日

開会時刻１５時００分

閉会時刻１６時３８分

○場　所　人権センター　研修室

○出席委員

委　員　南出　久仁子（職務代理者）　　委　員　山﨑　玲子

委　員　本田　　亘　　委　員　瀬古　良勝

○欠　席

教育長　西村　健

○出席者

教育部次長　北脇　康久

教育部次長（学校教育担当）　井関　保彦

教育総務課職員（事務局）　枝　　瑞紀

令和５年第 12 回野洲市教育委員会臨時会

令和５年８月 22 日

【南出委員】　　それでは、これより令和5年第12回野洲市教育委員会臨時会を開会いたします。本日の出席委員は4名で定足数に達していますので、会議は成立しています。

次に日程第1、会期の決定についてですが、本日1日限りとしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

【南出委員】　　ご異議ないようですので、会期は本日1日限りといたします。

次に日程第2、令和5年第12回野洲市教育委員会臨時会議事録の署名委員の指名についてですが、会議規則第19条第2項の規定により、本田委員と瀬古委員を指名いたします。

次に日程第3、付議事項（1）議案に移ります。議案第44号、令和6年度使用教科用図書の採択につき議決を求めることについて、事務局より説明をいただきますが、調査結果び概要説明については、1教科ごとに説明・質疑応答を行い、最後に一括して採決を行いたいと思います。それでは、井関次長お願いします。

【井関教育部次長】　教育部次長の井関です。本日は教育長が体調不良により欠席で、委員様4名ということでよろしくお願いします。

議案第44号、令和6年度使用教科用図書の採択につき議決を求めることについて、説明いたします。

議案書1、2ページをご覧ください。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第6項の規定に基づき、野洲市立小中学校で令和6年度に使用する教科用図書の採択につき議決を求めるものです。

公立の小中学校で使用する教科用図書の採択については、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律の規定により、採択地区協議会が設置され、採択地区協議会で行われた教科用図書選定協議の結果に基づき、各市町教育委員会で年度ごとに採択することとなっております。野洲市は滋賀県の教科用図書第二採択地区協議会に所属しており、令和5年7月31日月曜日、及び8月3日木曜日に開催された教科用図書第二採択地区協議会の選定結果に基づき、野洲市立の小中学校で令和6年度に使用する教科用図書を次のとおり採択することにつき議決を求めます。

初めに教科用図書第二採択地区協議会について説明します。議案書関係資料の1、2ペー

ジをご覧ください。本市が所属する教科用図書第二採択地区協議会の規程を載せております。この協議会は、草津市・栗東市・守山市・野洲市・湖南市・甲賀市の6市で構成されており、それぞれの教育長、教育委員代表、保護者代表を委員とする協議会です。この協議会において第二採択地区内の各市小中学校で使用する教科用図書が選定されます。3ページが本年度の協議会委員の皆さまです。

次に、本日議決を求めること、並びに第二採択地区での教科用図書選定までの経緯と結果について説明いたします。4ページが今年度の経緯となっております。本年度は小学校用教科書全教科の採択替えの年であり、さらに小中学校特別支援学級一般図書の一部採択替えを行います。現在までに協議会を3回、代表協議会を1回、幹事会を3回開催しました。併せて、令和5年5月29日から7月10日にかけて各市より選出した委員による調査委員会を開催し、厳正かつ精密な調査を行いました。令和5年7月31日と8月3日の協議会では、委員長より調査報告を受けて選定し、8月3日には第二採択地区として議決を行いました。

5から6ページが小学校の令和6年度通常学級で使用するものの一覧と理由です。7ページから9ページは特別支援学級で使用するものの一覧です。特別支援学級で使用するものについては、学校教育法附則第9条の規定により文部科学省著作本と検定本以外にも、絵本などの一般図書からも選定することができます。知的障害学級については、一部供給不能の本がありましたので、社会科において「はじめての日本れきしえほん」、外国語において「CDつき楽しく歌える英語のうた」の2冊が新たに選定されました。10ページは弱視学級で使用する教科書です。通常学級で採択された教科用図書の拡大版と文部科学省著作本である点字版の教科用図書を選定しています。

続いて、中学校は11ページから12ページが通常学級で使用するものの一覧と理由です。中学校については、昨年度の検定で新たな教科用図書の申請がなかったこと、次年度大規模採択を予定していること、現在使用の教科用図書について学校現場で不具合が起こっている声が上がっていないことなどから、現在使用中の教科書を選定し、第二採択地区として議決を行いました。

13ページから14ページは中学校の特別支援学級の一覧です。中学校も一部供給不能の本がありましたので、社会科において「楽しく学んで力がつく！こども世界地図」「はじめての日本れきしえほん」、理科において「科学のなぜ？新図鑑」の3冊が新たに選定されました。15ページは中学校弱視学級で使用する教科書です。通常学級で採択された教科用図書の拡大版と文部科学省著作本である点字版の教科用図書を選定されました。

以上、教科用図書第二採択地区協議会、今年度の採択の経緯、令和6年度使用教科用図書の選定についての説明をおわります。

続いて、採択地区協議会において調査委員長より報告されました調査結果の概要について教科ごとに説明します。まず、国語科の結果です。議案書関係資料17ページ、様式1の調査研究観点をご覧ください。学習指導要領に明記されている7つの観点と資料・学習指導に関わる構成等についての2つの観点、そして第2採択地区独自観点として、多様性の尊重・人権尊重・世界平和・いじめ・環境等の現代的な諸課題について工夫・配慮がなされているかという1つの観点を設け、全部で10の観点により調査研究を行いました。調査を行いました教科用図書は、東京書籍、光村図書、教育出版の3社から発行されたものです。

18ページから20ページは様式2観点別評価となっています。21ページから23ページは様式3調査研究結果です。調査の結果、一番評価が高かったのは光村図書でした。

それでは、それぞれの教科書の特徴を具体的に説明させていただきます。まず、東京書籍です。3年生上の教科書をご覧ください。この教科書の特徴は、物語文、説明文がバランスよく配置され、その内容が充実しているところです。付箋①のように、学ぶ観点が「言葉の力」として教科書の最初に分かりやすく掲示されていることも特徴の一つです。付箋②のように、各単元末には子どもたちの学習意欲が高まる言語活動が充実する内容となっていました。

次に一番評価の高かった光村図書です。付箋①をご覧ください。見開きでパッと見て単元指導における学習活動が明確に分かるようになっています。さらに、付箋②のように教材の扉絵に書かれているめあてや既習内容、リード文が簡潔なため、子どもたちが多すぎる情報を持たずに作品と出会うことができます。既習内容を確認したいときには「これまでの学習10ページ」と書かれたページをめくると、付箋③のように前の学年で学んだことを振り返ることができます。付箋④のように、教科書の巻末には国語の学習用語が掲載されており、既習の知識・技能を活用したり、思考を深めたりするときに便利でもあります。

次に教育出版です。この教科書の特徴は、6年間で子どもが身につけるべき言葉の力が付箋①のように「ここが大事」などで明確に示され、付箋②のように電球マークで系統化されて示されているところです。付箋③のように「言葉の文化」を配置し、伝統的な言語文化について触れているところも特徴です。

国語3社の教科用図書は、学習指導要領の趣旨に基づき、語彙を豊かにすることができるとともに、自分の考えを形成する学習となるよう構成されており、言語活動の充実や読書

活動へつなげるコーナーの設置など、どの教科用図書も様々な工夫が見られました。

10観点における評価をしたところ、光村図書が最もいい評価となりました。「読む」・「書く」・「話す・聞く」の構成が各学年で統一されており、教材内容も学年に応じたもので、全体としてのバランスがとれていました。子どもたちの学校行事や実生活につながる言語活動も多く、各単元での内容項目のポイントが明確に示されていました。発問等を工夫することにより児童の主体性を促すような学習活動も例示されています。

以上のことから、国語については光村図書発行の教科用図書が最も適切であるという結果になりました。

【南出委員】　　ただ今、説明がありました国語について、ご質問等はございませんか。

ないようですので、次に書写の説明をお願いします。

【井関教育部次長】　　次に書写について説明します。議案書関係資料25ページの様式1調査研究観点をご覧ください。書写は調査観点を8観点としました。調査を行った教科用図書は、東京書籍、教育出版、光村図書の3社から発行されたものです。

続いて、26から29ページの様式2観点別評価、様式3調査研究結果をご覧ください。調査の結果、総合的に判断し、一番評価が高かったのは光村図書でした。

それぞれの教科書の特徴としまして、まず東京書籍から説明します。精度が高く、完成度が高いと感じました。特色として、付箋①のように左右の払いについて、1ページに点画を比較的に取り上げて違いを考えさせたり、話合い活動を取り入れたりするなど主体的な学習が展開できるように工夫されています。

次に教育出版です。特色としましては、字形や筆順・運筆に関する留意点や学習者への問いかけなどが丁寧に細かく記述されていることです。また、付箋①のように学習のはじめに「ためし書き」、終わりに「まとめ書き」として教科書に鉛筆で直接書き込む学習活動を設定しており、振り返りを重視するとともに、毛筆の学習を硬筆に活かせるような内容となっています。

最後に、一番評価が高かった光村図書です。8観点の全てで精度が高かったです。特色としましては、学習のねらいを焦点化し、その学習に必要な情報を効果的に示すことで書写の力を育成できるところにあります。付箋①のように紙面の教材の文字について学ぶ視点を大きく取り上げ、手本や例示を厳選し、導入では学習課題を2つの文字の比較をさせることで掴ませ、学習のめあてを明快にしています。

以上、3社の特色を報告させていただきました。8観点における評価を厳密にしたところ、

光村図書が一番高い評価となりました。光村図書は学習のねらいを焦点化し、その達成のために効果的な手立てを講じているとともに、児童の意欲関心を高めること、他教科や生活場面で活用することを重視しながら、課題解決学習の視点から主体的な学びに導いていることなどから、光村図書が総合的に優れていると判断しました。

【南出委員】　　ただ今、説明がありました書写について、ご質問等はございませんか。

ないようですので、次に地図の説明をお願いします。

【井関教育部次長】　　続いて、地図について報告します。議案書関係資料31ページの様式1調査研究観点をご覧ください。全部で8観点により調査研究を行いました。調査をした教科用図書は、東京書籍、帝国書院の2社です。

続いて、32ページから33ページの様式2観点別評価、様式3調査研究結果をご覧ください。調査の結果、一番評価が高かったのは帝国書院でした。

それでは、それぞれの教科書の特徴を説明します。まず、東京書籍です。付箋①のように交通網について詳しく記載されており、運輸・運送の学習場面で活用できます。また、付箋②のように、日本と世界の歴史を合わせて確認できる年表を記載してあり、世界との関りを考えながら地図を見る工夫がされています。

次に、一番評価が高かった帝国書院です。付箋①から①´のように、14ページにわたり地図活用の技術を活かせるよう、地図の概念、方位や地図記号、索引などの使い方までスモールステップで丁寧に解説してあります。また、付箋②右下のように「地図マスターへの道」という地図についての課題が100問と豊富です。さらに、地形の様子が捉えやすくなるように土地の高さによる彩色がされており、立体感あふれる地図となっています。付箋③のように、世界のＳＤＧｓに関連する写真や図表を全編通して設けています。付箋④のように統計データが豊富かつ最新のものが使われているのも良い点です。

以上、8観点で調査した結果、帝国書院が一番高い評価となりました。全編を通して見やすい地図帳となっており、説明も丁寧で課題も豊富です。さらに、統計資料データが豊富かつ最新のデータとなっていることなどを総合的に踏まえて、帝国書院が最も良いと判断しました。

【南出委員】　　ただ今、説明がありました地図について、ご質問等はございませんか。

ないようですので、次に社会の説明をお願いします。

【井関教育部次長】　　次に、社会科について報告いたします。議案書関係資料35ページの様式1調査研究観点をご覧ください。全部で9観点により調査研究を行いました。調査を

行った教科書は、東京書籍、教育出版、日本文教出版の3社です。

続いて、36ページから40ページの様式2観点別評価、様式3調査研究結果をご覧ください。調査の結果、一番評価の高かったのは日本文教出版でした。

それでは、それぞれの教科書の特徴を説明いたします。まず、東京書籍です。教科書の重さは最も軽く、登下校・持ち運びに適しています。特に5・6年の教科書は分冊になっています。付箋①のように導入時の写真は非常にインパクトがあり、また鮮明な写真やイラストはとても見やすいのが特徴です。また、付箋②のように働く人の思いや願いについて、顔写真付きで掲載されているのは非常に児童の関心を高めることにつながります。

次に教育出版です。5年生の教科書、付箋①のように調べたことや分かったことをまとめたり、情報を集めたりする方法を各学年の巻頭に記載していることは、児童の説明する力や表現する力の育成には効果的であると考えられます。付箋②右下のように、ＳＤＧｓと繋げて考えられるページが全ての学年で巻頭に記載されており、付箋③右下のように関連付けたページをすぐに探すことができます。

最後に、一番評価の高かった日本文教出版です。付箋①のように、社会科学習においては大切な資料である写真やイラストはとても鮮明で、読み取りやすく、児童の興味関心を高めることができる工夫がされており情報量も豊富です。また、付箋②のように見開きページだけで二次元コードが3つあるように、二次元コードの数も圧倒的に多く、学習の一助に十分なります。また、付箋③のようにＳＤＧｓについて全ての学年の巻末に特設ページを設け、シールによって児童の意欲を喚起しています。そのシールを貼るページ例としては、193ページと281から253ページです。各単元末でもＳＤＧｓとつなげて考えられるようになっています。付箋④のように、3年生の教科書では湖南広域消防局や栗東市の大宝東小学校が14ページにわたって取り上げられており、身近に感じながら学習を進めることができます。他学年でも彦根市子ども議会や雨森芳洲、大津京、びわ湖の葦といった身近な事例が多数掲載されており、郷土に誇りをもって学ぶことができると考えます。以上を総合すると、非常に高い評価になりました。

9観点における評価をしたところ、日本文教出版が一番高い評価となりました。日本文教出版の教科用図書は、新しい指導要領にかかる観点1から3並びに構成や使いやすさ、デジタルコンテンツのいずれにおいても高い評価となりました。特に、ＳＤＧｓについての学びやデジタルコンテンツによる授業展開への広まりや深まりが可能となる点が特長と言えます。これらのことを総合的に踏まえ、日本教育出版の教科用図書が最もふさわしいとの

評価となりました。

【南出委員】　　ただ今、説明がありました社会について、ご質問等はございませんか。

ないようですので、次に算数について説明をお願いします。

【井関教育部次長】　　それでは、次に算数について報告いたします。議案書関係資料42ページの様式1調査研究観点をご覧ください。全部で8観点により調査研究を行いました。調査を行いました教科用図書は、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館、日本文教出版の6社から発行されたものです。

続いて、43ページから48ページの様式2観点別評価、様式3調査研究結果をご覧ください。調査の結果、一番評価が高かったのは大日本図書でした。

それでは、それぞれの教科書の特徴を説明させていただきます。まず、東京書籍です。基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けられるよう、豊富に問題が用意されています。付箋①のように、単元の導入場面では、身の回りの事象から問題を引き出すよう工夫があり、また、自分や友達の考えを説明する活動が設定されているなど、効率的に言語活動を取り入れています。単元末には、付箋②のように自分の学びを自分の生活と関連付けて、学んだことを自分の生活に生かせるよう設定されています。

次に、一番評価の高かった大日本図書です。付箋①のように考えを表現したり、友達の考えを説明したりする問題や多様な考えを比較・検討し、その良さについて話し合う問題が設定されています。付箋②にように、単元末には数学的な見方・考え方を確かめる問題がどの単元にも掲載され、「単元全体を振り返ろう」のコーナーで大切だと思ったことを話し合う設定がされています。また、付箋③のように「ふくろう先生のなるほど算数教室」のコーナーでは、算数が理科や社会科などの他教科と関連していたり、社会で算数が生かされていたりすることを実感できるようにしてあります。

次に、学校図書です。付箋①にように数学的な見方や考え方の視点を、「考えモンスター」というキャラクター化によりパターン化して示すことで、児童が楽しみながら単元の要点を確かめることができます。付箋②にように、「よくあるまちがい」コーナーであえて間違うことにより、学習のポイントを焦点化させる工夫があります。

次に、教育出版です。付箋①のように吹き出しの言葉の中に疑問や気づきで数学的な見方や考え方が示されていて、思考を整理していけるように工夫されています。また、付箋②のように、学習活動の中に自分で考えたり他者に説明したりするところがあり、表現力を養えるようになっています。

次に、啓林館です。付箋①のように二次元コードの解説動画がついており、学び直しや前のページにあるような「学習の準備」など、予習や家庭での復習でも使いやすくなっています。また、付箋②のように「わくわくＳＤＧｓ」で算数を通して社会問題を考えさせる工夫もあります。

最後に、日本文教出版です。付箋①のように、めあてとまとめが対応していて分かりやすく、学習の定着が図りやすくなっています。52ページ下のように、話合ったり考えたりする問題が多く設定されており、段階的に学習が進められるようになっています。

以上6社について、8観点による評価をしたところ、大日本図書が最も良い評価となりました。指導要領にかかる観点1から5の全てと、第二地区独自設定の観点で高評価となりました。基礎的な理解や技能の習得と思考・判断・表現力を養い、学びに向かう力を涵養するうえで大日本図書が一番適切な教科書であるとの結果でした。

【南出委員】　　ただ今、説明がありました算数について、ご質問等はございませんか。

ないようですので、次に理科の説明をお願いします。

【井関教育部次長】　　次に、理科の調査結果を報告いたします。議案書関係資料50ページの様式1調査研究観点をご覧ください。全部で10の観点により調査研究を行いました。調査を行った教科用図書は、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館の5社から発行されたものです。信州教育出版の「新しい理科」につきましては、7月中旬まで見本本が配本されない状況でした。さらに、教科書自体、出版社の地元である長野県内の採択を目指して作成されたものであることから、今回第二採択地区における調査・選定対象から外しています。

続いて、51ページから56ページの様式2観点別評価、様式3調査研究結果をご覧ください。調査の結果、一番評価が高かったのは東京書籍でした。

それでは、それぞれの教科書の特徴を説明いたします。まず、一番評価の高かった東京書籍です。身近な自然や暮らしから問題を見いだし、主体的・対話的な学びによって科学的な見方や考え方を生かして解決できるように構成されています。付箋①右下のように「問題もつかもう」で児童の問題の見いだしを引き出す工夫がされており、さらに付箋②のようにキャラクターの吹き出しで思考する際の視点について示されています。付箋③のように観察方法など、写真やイラストを使って説明されており、動画での解説もあります。付箋④のようにユニバーサルデザインの視点から配慮がされており、全体的に文字が大きく読みやすく、サイズはＡ4版と少し大きいながらも、軽量化されています。滋賀県関連の記

事が3つと最も多く掲載されていて子どもの興味を引きます。

次に、大日本図書です。子どもたちが自ら調べ、対話的な学びを通して理科の面白さを実感し、学びが生活に生きるように編集されています。付箋①のように学習課題を見つけたり、付箋②のように結果から考察したりする場面において、話し合いを促すイラストや記述が多く、交流により学びが深まるように工夫されています。

次に、学校図書です。付箋①下のように単元の導入では、児童につけたい力を大きく3つに絞って提示してあります。付箋②のように問題解決の各場面では、リード文や写真、イラストなどを用いて児童の考えを引き出すような工夫がされています。

次に、教育出版です。付箋①のように109ページ「見つけよう」から112ページ「結論」までの問題解決の過程が1本のピンク色の線でつながれており、問題解決の流れが分かるように示されています。付箋②のように巻末には「安全の手引き」が示されており、すぐに確認できるよう工夫されています。

最後に、啓林館です。付箋①のように162ページの「問題」の答えが164ページの「まとめ」となるように色・マーク等の記載が工夫されており、問題解決の過程を踏まえて記述されています。付箋②にように単元ごとに「まとめノート」のページを設け、文や図、表などを活用した自分のノートのまとめ方を例示しています。

以上の結果を鑑み、児童が科学的な見方・考え方を働かせて主体的に学べるような構成であり、教員にとっても使いやすいといった点から、5社の中で最も適切な教科書は東京書籍であるという結果でした。

【南出委員】　ただ今、説明がありました理科について、ご質問等はございませんか。山﨑委員どうぞ。

【山﨑委員】　協議会でも説明のような内容でしたが、理科に関しては現在の啓林館から東京書籍に変わるということでいろいろなご意見が出ていました。小学校教員は専門的な教科の免許を持たないこと、高学年になるにつれて内容や実験も難しくなることから、得意でない教師も出てくると思います。こういったことを考えたときに、誰もが使いやすく、経験の浅い教師にも分かりやすいという意味でも使いやすい教科書であると話題に出ていたことを申し添えておきます。

【南出委員】　ありがとうございます。続いて、瀬古委員どうぞ。

【瀬古委員】　1つ気になるところを質問させていただきます。今山﨑委員からも話がありましたように啓林館から東京書籍に変わるということですが、1つ気になるのは東京書籍

の編集委員さんの中に甲賀市立水口小学校の先生が入っておられます。当然関係ないのだろうとは思いますが、長年親しんできた理科の教科書が啓林館から東京書籍に変わる中で、第二採択地区内の先生が著作者の中におられます。意図するところはないのかもしれませんが、気になるので確認のためにお聞きします。

【井関教育部次長】　　協議会の中でも話題になりました。調査委員会の回答としましては、「ここに名前はありますが、この調査の選定には関係ない」ということははっきり申されました。

あと、啓林館の教科書も非常に良い教科書でしたが、調査委員会の厳正な調査の結果、東京書籍が最もふさわしいということで、先ほど山﨑委員がおっしゃったように、若手の教員でも使いやすいような内容であるということも1つの理由としてあったということを申し添えておきます。

【南出委員】　　それでは、他にご質問等はございませんか。よろしいですか。

ないようですので、次に生活について説明をお願いします。

【井関教育部次長】　　それでは、次に生活科について報告いたします。議案書関係資料58ページの様式1調査研究観点をご覧ください。全部で9観点による調査研究を行いました。調査を行った教科用図書は、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、光村図書、啓林館の6社から発行されたものです。信州教育出版の「せいかつ」については、理科の教科書と同様の理由で第二採択地区における調査・選定対象から外しています。

続いて、59ページから65ページの様式2観点別評価、様式3調査研究結果をご覧ください。調査の結果、一番評価が高かったのは東京書籍でした。

それでは、それぞれの教科書の特徴を説明いたします。まず、一番評価の高かった東京書籍です。付箋①のように家族との会話や学校での仲間との会話等がイラストで示され、実生活での行動を促しています。付箋②のように鮮明な写真や図はとても見やすく、表現のバリエーションも豊富です。付箋③のように安全面やマナーについて、上下巻とも教科書の右上に「やくそく」というコーナーがあり、何度も繰り返し確認できるようになっています。デジタル情報も、NHK　for school動画も含め多岐にわたっています。また、付箋④のように、多様な他者とかかわる活動が写真やイラストで多く掲載されていました。付箋⑤のように巻末の「かつどうべんりてちょう」には、基本的な生活習慣や他教科と関連して使える知識技能が多岐にわたりデジタルコンテンツを含め、閲覧可能となっています。

次に、大日本図書です。付箋①から①′のように収穫した野菜を材料にして家庭で調理し

て食べたり、付箋②のように町探検で行った場所に家族と出かけたりしている写真があり、学んだことを家庭や実生活につなげていこうとする意識が感じられる構成となっています。

次に、学校図書です。付箋①のように花や野菜の種などの写真があり、栽培への意欲が高められます。さらに右下に「ものしりノート」が紹介してあります。付箋②のようにおもちゃの作り方、電車の乗り方、みんなで遊ぶときの遊び方などを例示して、活動を広げる工夫があります。

次に、教育出版です。付箋①のように、小単元はじめに「わくわくスイッチ」が設定され、子どもが見通しをもって学習に臨めるような工夫がされている。また、付箋②のように子どもが自分で計画書を作成したりするなど、ゴールを意識して学習する力をつける仕掛けがありました。

次に、光村図書です。付箋①「こんなこともあるかもね」のイラストや、付箋②「こんなのもいいかもよ」では、楽しみながら多様な考え、発想を肯定するつくりとなっており、子どもが安心して学べる工夫、多様性を学ぶ効果があります。

最後に、啓林館です。付箋①のように「すたあとぶっく」があり、就学前から小学校1年生への扱いが丁寧にされています。付箋②、③のようにそれぞれの季節に応じた遊びや活動、行事を大変大事に取り扱っているのが特徴的でもありました。

以上6社において、9観点で調査した結果、学びが家庭や実生活で生かされるような工夫がされており、鮮明な写真や図はとても見やすく、表現のバリエーションも豊富で安全面やマナーについても何度も繰り返し確認でき、デジタル情報も多岐にわたっている東京書籍が最も高い評価となりました。

【南出委員】　　ただ今、説明がありました生活について、ご質問等はございませんか。

ないようですので、次に音楽の説明をお願いします。

【井関教育部次長】　　続いて、音楽です。議案書関係資料68ページの様式1調査研究観点をご覧ください。全部で8観点により調査研究を行いました。調査を行った教科用図書は、教育出版、教育芸術社の2社から発行されたものです。

続いて、69ページから72ページの様式2観点別評価、様式3調査研究結果をご覧ください。調査の結果、一番評価が高かったのは教育芸術社でした。

それでは、それぞれの教科書の特徴を説明いたします。まず、教育出版です。付箋①のように鍵盤ハーモニカと教科書の鍵盤の写真がぴたりと合い、音が確認しやすいという特徴があります。付箋②のように巻末に音楽を表すいろいろな言葉の表記があり、子どもが思

いや考えを伝えるための手立てがありました。

次に、一番評価の高かった教育芸術社です。付箋①のようにどの教材にも歌唱や演奏の表現の工夫を考えるポイントが記載されています。付箋②右上のように、大半のページに二次元コードが掲載されており、曲の主旋律を音で確認できるとともに再生速度を変えることもできます。さらに、このページのような音楽づくりのコンテンツでは、一人一台端末で音や旋律を選べるようになっており、速度や音色も変えることができます。児童が試行錯誤しながら音楽をつくることができるような配慮があります。

以上2社について、8観点で調査した結果、教育芸術社が発達段階に応じた無理のない音域や歌詞の内容に配慮された教材が多く、全学年において歌唱器楽で扱う楽曲は四分音符や八分音符が中心に扱われており、表現の技能を高めるのに適していることから最も高い評価となりました。

【南出委員】　　ただ今、説明がありました音楽について、ご質問等はございませんか。

ないようですので、次に図工の説明をお願いします。

【井関教育部次長】　　次に、図画工作です。議案書関係資料74ページの様式1調査研究観点をご覧ください。全部で8観点により調査研究を行いました。調査を行った教科用図書は、開隆堂出版、日本文教出版の2社から発行されたものです。

続いて、75ページから76ページの様式2観点別評価、様式3調査研究結果をご覧ください。調査の結果、一番評価が高かったのは日本文教出版でした。両社とも学習指導要領の趣旨を十分に生かした教科用図書であることに違いはありませんでした。

それでは、それぞれの教科書の特徴を説明いたします。まず、開隆堂出版です。付箋①のように多くの用具や教材について、写真やイラスト付きで細かく表記されています。次のページ①′も同様です。付箋②下「かたづけ」では、どの単元でも「余った材料は種類ごとにまとめて取っておく」と記載されており、環境への配慮もありました。

次に一番評価の高かった日本文教出版です。付箋①「オレンジ色の指マーク」には「めあてのひんと」が示されています。また、児童の発言が緑色の吹き出しで掲載されていることで、発想や構想を広げるヒントにもなっています。付箋②や付箋③下のように、用具の使い方では「気をつけよう」が記載されていたり、大きい写真で載っていたり、二次元コードの動画でも使い方が確認できたりと安全面での配慮が丁寧です。

以上2社について、8観点で調査した結果、構成がすっきりしていて説明も分かりやすく、子どもにとって見やすい、子どもが表したいことについて発想や構想を広げるヒントが多

いなどの良さがある日本文教出版が最も高い評価となりました。

【南出委員】　　ただ今、説明がありました図工について、ご質問等はございませんか。

ないようですので、次に家庭の説明をお願いします。

【井関教育部次長】　　次に、家庭科です。議案書関係資料78ページの様式1調査研究観点をご覧ください。全部で9観点により調査研究を行いました。調査を行った教科用図書は、東京書籍、開隆堂出版の2社から発行されたものです。教科書のサイズや重さについては、両社特に問題はないという結果でした。

続いて、79ページから80ページの様式2観点別評価、様式3調査研究結果をご覧ください。調査の結果、一番評価が高かったのは開隆堂出版でした。

それでは、それぞれの教科書の特徴を説明いたします。まず、東京書籍です。付箋①右下のように「プロに聞く」というコーナーがあり、動画でも見ることができ、実際に聞いている感覚で学べ、キャリア教育にもつながっています。付箋②のように「夏休みわくわくチャレンジ」などのコーナーを設け、学校で学んだことを長期休みなどに家庭で実践できるような工夫がされています。

次に、一番評価の高かった開隆堂出版です。付箋①のように基礎的な技能の習得に関わる内容について、制作や調理の手順が横一列に写真やイラストで提示されており、見通しをもって学習しやすい構成になっています。付箋②のように学んだことを応用した調理例や作品例の掲載が豊富で、発展的な学習や家庭での実践に活用できます。さらに、付箋③のように「生活の課題と実践例」が豊富に示され、これをヒントに学んだことを生活に生かそうとすることを促しています。付箋④右上の二次元コードを読み取ると、この見開きページに黄色いＱＲマークが3つあるように、動画が細かく分かれていてポイントを絞って活用しやすいです。

東京書籍、開隆堂ともそれぞれ工夫された内容であり、それぞれ良さや使いやすさがありました。2社、9観点で調査し総合的に判断した結果、開隆堂出版が最も高い評価となりました。さらに、開隆堂出版は持続可能な社会の実現に向けて、私たちに何ができるかをまとめる学習を2年間の家庭科の最後の学びに位置づけていました。これは、子どもたちの思考や今後の生活における実践の流れに有効に働くと予想されます。

【南出委員】　　ただ今、説明がありました家庭について、ご質問等はございませんか。

ないようですので、次に保健の説明をお願いします。

【井関教育部次長】　　続いて、保健です。議案書関係資料82ページの様式1調査研究観点

をご覧ください。全部で9観点により調査研究を行いました。調査を行った教科用図書は、東京書籍、大日本図書、大修館書店、文教社、光文書院、ＧＡＫＫＥＮの6社から発行されたものです。

続いて、83ページから88ページの様式2観点別評価、様式3調査研究結果をご覧ください。調査の結果、一番評価が高かったのは東京書籍でした。

それでは、それぞれの教科書の特徴を説明いたします。まず、一番評価の高かった東京書籍です。付箋①左のように、毎時間ごとに一目で学習課題がつかめる工夫がされています。例えば51ページの感染症の予防策は、イラストを交えて順序立てて表記するなど、一目で内容が分かりやすく理解が深まります。二次元コードに説明書きや動画資料に字幕を付けるなど児童が理解しやすい工夫がされています。付箋②のように家庭内等、身近でできる運動が多く記載されており、児童が実生活に生かしやすい。例えば「からだを動かして心を静めよう」など、自分の生活や健康における運動の必要性に触れながら学習が展開されています。付箋③、29ページ真ん中右のように、他教科、他学年とのつながりが分かるように明記されています。

次に、大日本図書です。付箋①のように「つかもう」で自分の生活を振り返った後、「ここで学ぶこと」で学習のめあてと言葉の説明で課題をもちやすい構成になっています。付箋②のように「もっと知りたい！」のコーナーでは、思春期における具体的な悩みなどを分かりやすく記載してあります。様々な性のあり方にも触れ、解決策や相談先も載せるなど人権にも配慮されています。

次に、大修館書店です。付箋①のように、ケガに関して手当の手順一つ一つにイラストが掲載されており、イメージしやすいです。付箋②のように「もっと学びを広げよう！深めよう！」のコーナーでは、知識を深めるだけでなく、いじめや差別の視点からも配慮された記載が多いです。特に新型コロナウイルスに関する世間の動きについて冷静な判断をすることの重要性を伝えようとしています。

次に、文教社です。付箋①のように生活習慣病の予防では、お菓子などの塩分量の資料から食生活を見直したり、虫歯や歯周病を予防する方法を項目ごとに紹介したりと、より具体的な資料が児童の生活に結びつけられています。付箋②のように全ての単元の終末にある「わたしの○○せん言」では、友達からのコメント欄を設けており、より意欲的に自分の課題に取り組むことができるように工夫されています。

次に、光文書院です。付箋①のように、概ね1単元が見開き2ページになっており、活用

しやすいです。付箋②のように体づくり運動について多く記載されていたり、いろいろな遊びを紹介するＷＥＢサイトも記載されていたりと、児童が健康と運動の関わりについて理解しやすいです。

最後に、ＧＡＫＫＥＮです。付箋①のように「ほけんのはこ」の資料では、発展的、実践的なスキルや知識を毎回学ぶことができます。付箋②のように自分のことだけでなく、他者に対するアドバイスを考えるコーナーで自他ともに命や健康を考えられる機会が多いです。

以上6社、9観点で調査した結果、東京書籍が最も高い評価となりました。先ほど説明した特徴以外にも、児童の生活場面から発問を工夫するなど、じっくり考えることで主体的に学習できる素地を作ろうとしていたりする良さもありました。

【南出委員】　ただ今、説明がありました保健について、ご質問等はございませんか。山﨑委員どうぞ。

【山﨑委員】　保健についても現在使用しているＧＡＫＫＥＮから東京書籍に変わるということで、当日いろいろご意見が出ていました。今説明していただいたほかにも、例えば薬物乱用の学習単元ですが、子どもたちは薬物乱用がいけないことだと知っていますが、薬品の別名や実際にこのような体になってしまうということも小学生なりに理解できるように記載されていて分かりやすいというご意見がありました。

【南出委員】　他にご質問等はございませんか。ないようですので、次に外国語の説明をお願いします。

【井関教育部次長】　次に、外国語についてです。議案書関係資料90ページの様式1調査研究観点をご覧ください。全部で10の観点により調査研究を行いました。調査を行った教科用図書は、東京書籍、開隆堂出版、三省堂、教育出版、光村図書、啓林館の6社から発行されたものです。

続いて、91ページから99ページの様式2観点別評価、様式3調査研究結果をご覧ください。調査の結果、一番評価が高かったのは光村図書でした。

それでは、それぞれの教科書の特徴を説明いたします。まず、東京書籍です。付箋①にように単元の最初に明確なゴールが示されており、達成に向けたスモールステップが設定されているので、主体的に学習しやすくなっています。付箋②にように紙面は見やすく、様々な表現例があるなど支援が必要な児童にも配慮がある、4線の幅、行間、図やイラスト、写真の配置も良いです。

次に、開隆堂出版です。付箋①のようにアクティビティが分かりやすく示されており、見通しをもって取り組むことができます。付箋②のように、学習の最後に「書くこと」があり、聞いたり話したりして学んだことを「書くこと」に生かせる工夫があります。

次に、三省堂です。付箋①にように、あこがれの人の紹介など、子どもの興味関心を引く人物を取り上げて学習意欲に結び付けています。付箋②のように、5年生は音声中心の学習から始まり、6年生では少しずつ読む活動や書く活動と段階的に学習できるような構成になっています。

次に、教育出版です。付箋①のように単元の冒頭にその単元のゴールが書いてあるので、見通しをもって学習できます。付箋②のようにファイナルアクティビティとして、身近な話題について発表する言語活動が示されています。

次に、一番評価の高かった光村図書です。付箋①のように「レッツスピーク」で、ペアやグループなどでやり取りする言語活動の場面を多くとっています。付箋②にように各単元の最初にゴールと学習の流れが「ホップ・ステップ・ジャンプ」で明示され、児童が見通しをもって学習に取り組むことができます。付箋③のように5年生では自分や相手のこと、身近な人、地域のことについて聞いたり読んだり話したり書いたりできることが目標で、ページ下6年生では、日本や世界、自分の将来について伝え合うことができることが目標となるなど、2年間を通して自分のことから地域、日本、世界というように視野が広がっていく設定になっています。付箋④のようにＱＲコードで紙面読み上げ機能を使うと、好みの速度を選ぶことができます。デジタル教科書でも、アニメやチャンツは好みの速度で視聴できるようにもなっています。

最後に、啓林館です。付箋①のように各単元末のlook backは視点が明確であり、自分の学習定着度が分かりやすいです。付箋②ページ下のように、各単元の「friends around the world」のコーナーや、68ページの「Did you know?」では海外の生活などについて知ることができます。

外国語科では、まずは言葉を大切に感じ、日本語とは違う外国語の音声に気づき、慣れ親しみ、外国語を通して身近な材料や話題を元に、児童自ら思考し、状況や環境を理解した上で、目の前の相手や他者とのコミュニケーションを図ることについては、どの社もそれぞれの特徴を生かせば、児童の学びの楽しさや意欲につなげられるとのことでした。しかし、6社10観点で判断した時に、光村図書が全ての観点で高評価であり、最もバランスが取れていました。

【南出委員】　　ただ今、説明がありました外国語について、ご質問等はございませんか。

ないようですので、次に道徳の説明をお願いします。

【井関教育部次長】　　次に、道徳にです。議案書関係資料101ページの様式1調査研究観点をご覧ください。全部で9観点により調査研究を行いました。調査を行った教科用図書は、東京書籍、教育出版、光村図書、日本文教出版、光文書院、ＧＡＫＫＥＮの6社から発行されたものです。

続いて、102ページから107ページの様式2観点別評価、様式3調査研究結果をご覧ください。調査の結果、一番評価が高かったのは日本文教出版でした。

それでは、それぞれの教科書の特徴を説明いたします。まず、東京書籍です。付箋①ページ下のように、現代的課題が5つのユニットで構成され、コラム数、詩や歌なども幅広く取り上げています。また、付箋②のように教材文の後ろにある「考えよう」には、そのポイントが2つに絞られていて、量的にも内容的にも適切です。

次に、教育出版です。付箋①、②のように役割演技をはじめ、体験的活動を通して考える教材が全ての学年において年間複数回配置されています。付箋③左下のように、学習後は教材ごとに自己評価欄が設けてあり、学習の成果を振り返ることができるようにもなっています。

次に、光村図書です。付箋①のように4年生では、びわこ環境美化活動を話題とする、滋賀県の郷土教材「琵琶湖のごみ拾い」が配置されています。「びわこの日」には、滋賀県のどの学校でも環境美化活動が取り組まれていたりすることから、親しみやすい教材が使用されていると言えます。付箋②のように「考えるヒント」があり、図を使って自分の考えを広めたり深めたりすることができます。

次に、一番評価の高かった日本文教出版です。付箋①のように「いじめの防止」が最も重要なテーマとして位置づけられています。その教材が付箋②です。そのページの末尾に黄色で示された2つの発問が書かれてあり、子どもが自分事として考えられるように工夫されています。仲間と話し合ったり役を演じ合ったりして考えを深めるためのページも多く設定されています。付箋③のようにこの社だけ道徳ノートがあり、自分の考えを書いたり、学習や自己を振り返ったりすることができます。現行の道徳ノートからより使いやすいものに改善され、児童の実態に即した学習展開が期待できるものになっていました。

次に、光文書院です。付箋①のように全ての教材の終わりに「ひろげよう」があり、家庭や地域の人たちと関わりを持たせた活動を提示し、学習したことが子どもたちの実生活に

つながるように工夫されている。付箋②のように「みんなでやってみよう」のページでは、コミュニケーションスキルを学べる体験的な活動にもつなげられます。

最後に、ＧＡＫＫＥＮです。付箋①のように「心のパスポート」のページで学習を深めることができ、自分の生活につなげたり振り返ったりできるようになっています。付箋②のように情報モラルを扱う教材では、低学年から発達年齢に応じた内容で取り扱い、身近な問題として考えられるようになっています。

6社とも年間を通して教材配列に工夫をし、教材に関連する情報を提供する努力がなされ、多様な学習活動が促されておりました。また、1人1台端末を有効に活用するために、デジタルコンテンツの充実、ＱＲコードの活用が児童にとって使いやすく、分かりやすいものになっており、各社の努力を大いに感じ取ることができました。9観点で調査した結果、総合的に判断して、日本文教出版が最も良い評価となりました。

【南出委員】　ただ今、説明がありました道徳について、ご質問等はございませんか。山﨑委員どうぞ。

【山﨑委員】　今説明がありましたように、日本文教出版だけが道徳ノートがあります。子どもたちの学習の中で自分を振り返る時間として道徳ノートを活用しますし、自分の学習の積み重ね記録にもなります。ノートには細かいステップや設問がないので、教師の意図で使いやすいという意見も出ていました。

【南出委員】　他にご質問等はございませんか。ないようですので、次に特別支援学について、説明をお願いします。

【井関教育部次長】　それでは、特別支援学級について、109ページから116ページをご覧ください。調査研究の結果と観点が示されています。特別支援学級で使用する教科書については、学校教育法附則第9条の規定により、文部科学省著作本と検定本以外にも、絵本などの一般図書からも選定することができます。知的障害学級用については、一部供給不能の本が2冊ありました。2冊の内訳は社会科1冊、外国語1冊です。

議案書関係資料117ページから119ページをご覧ください。供給不能であった2教科2冊を選定し直し、社会科において「はじめての日本のれきしえほん」、外国語において「ＣＤつき楽しく歌える英語のうた」の2冊が新たに選定されました。議案書関係資料120ページをご覧ください。弱視学級については、検定教科書と同一内容の文字等を拡大した拡大教科書と文部科学省著作本である点字版の教科用図書を選定しました。議案書関係資料121ページから125ページをご覧ください。あくまでも目安ですが、今回選定しました教科書を使用

する学年は資料のとおりです。

それでは、議案書関係資料126から127ページをご覧ください。今回新たに選定した2冊について説明させていただきます。まず、社会科「はじめての日本のれきしえほん」です。知的学級の児童については、交流学級で社会科を学ぶ児童も多いですが、この図書は特別支援学級で社会科を学ぶためのものとして選定しました。家、服、食べ物、暮らしなど、児童の生活と比べて考えやすい内容が絵で描かれており、はじめて歴史を学ぶにあたって、それぞれの時代がイメージしやすい構成となっています。時代ごとに特徴的な道具や人々の暮らしなどについての解説も拡大した絵と簡単な言葉で示されており、興味を持って学習に取り組むことができる工夫が見られます。時代の変化による人々の変化が一目で分かるようになっており、児童が楽しく学べる図書です。

続いて、議案書関係資料127ページをご覧ください。外国語「ＣＤつき楽しく歌える英語のうた」です。知的学級で外国語を学ぶにあたっては、視覚や聴覚、身体全体を使って楽しく学ぶことが子どもたちとって大切であると考えます。また、音楽のリズムに合わせて踊ったり楽しく歌ったりしながら、自然に外国語を覚え身に付けていく指導が有効であると考えます。この図書は、歌の世界をイメージしやすいイラストとともに英語と日本語が分かりやすく記述されており、ＣＤつきでリズムに合わせ、身体全体で学べる工夫もされています。「ハッピーバースデー」「ロンドン橋落ちた」「メリーさんの羊」など、これまで耳にしたことのある曲や手遊び、身体表現、ペアや集団で動作化しながら学べる工夫もされており、知的学級の児童にとって楽しく学べる図書です。以上です。

【南出委員】　　ただ今、説明がありました小学校特別支援学級について、ご質問等はございませんか。

ないようですので、次に中学校の特別支援学級について、説明をお願いします。

【井関教育部次長】　　次に、中学校の特別支援学級について説明します。議案書関係資料129ページから134ページをご覧ください。調査研究の結果と観点が示されています。特別支援学級で使用する教科書については、学校教育法附則第9条の規定により、文部科学省著作本と検定本以外にも、絵本などの一般図書からも選定することができます。中学校の知的障害学級で使用する教科書については、一部供給不能の本が2教科3冊ありました。3冊の内訳は、社会科2冊、理科1冊です。

議案書関係資料135ページから136ページをご覧ください。供給不能であった2教科3冊について選定し直し、社会科は「楽しく学んで力がつく！こどもの世界地図」と「はじめての

日本のれきしえほん」の2冊を選定しました。理科については「科学のなぜ？新図鑑」1冊を選定しました。議案書関係資料137ページをご覧ください。弱視学級については、検定教科書と同一内容の文字等を拡大した拡大教科書と文部科学省著作本である点字版の教科用図書としました。議案書関係資料138ページから143ページをご覧ください。あくまでも目安ですが、今回選定した教科書を使用する学年は、この資料のとおりです。

それでは、議案書関係資料144ページから146ページをご覧ください。今回新たに選定した3冊について説明します。まず、社会科「楽しく学んで力がつく！こどもの世界地図」については、この図書は単なる地図帳とは違い、世界を地球という視点からまとめており、幅広い知識がテーマ別に掲載されています。写真が多く、国別の特徴が端的にまとめられているので、異なる発達年齢の子どもたちが学べる充実の内容になっています。また、子どもたちが興味を持ちそうなオリンピックや衣装、人口などテーマ別に話題が盛り込まれており、生徒の好奇心を掻き立てる内容となっています。巻末に世界各国の国旗カードがあり、裏面には国名、首都、人口、面積、通貨が掲載され、興味を持って学習できるようにもなっています。見出しが各ページに大きく示されており、行間が適切で見やすく、全ての漢字にルビがふられているのも良い点です。

2冊目の「はじめての日本のれきしえほん」については、日本の歴史の移り変わりをイラストと短い文章で表したものになっています。歴史の大きな流れを掴み、現代の生活につなげたり、これからの未来について考えを巡らせたりするのにふさわしい内容となっており、歴史という抽象的な内容の学習をイラストで具体的に分かりやすく表現しています。特別支援学級の生徒が学ぶのに効果的であると思われます。時代区分ごとにその時代を象徴する風景や人々の暮らし、流行等を詳細に描いたイラストで紹介してあるので、時代の移り変わりが一目で分かりやすくなっています。特に衣・食・住など、生徒の興味・関心を引く内容が網羅されており、現代とのつながりを意識して学べる内容となっています。各時代の衣食住のついて、その作り方等が詳しく紹介されており、体験学習を展開できる内容となっています。項目ごとに見開き2ページにまとまっており、配列もその時代の全体像から始まり、人々の生活の様子、道具等の説明へと詳しくなっており、生徒が理解しやすい工夫がされています。さらに、平成・令和時代など、現代の情報も掲載されており、これからの生活課題に関した情報掲載されています。

適切な大きさの手書き文字が使用されており、ＵＤフォントに近く、誰にとっても見やすい表記になっています。情報量も適切で、生徒の興味を喚起し、さらに興味を広げてい

くような内容になっています。短い文章かつ平易な表現で書かれており、誰が見ても分かりやすい工夫がされています。小学校でも一般図書として選定されていますが、この本は、支援学級の幅広い発達段階にある生活の指導に適した図書であり、中学校においても、過去、現代と将来につなげる学習に活用できると考えます。

理科については、「科学のなぜ？新図鑑」を選定しました。この本は図や写真を多く使い、科学の大切な知識や考え方が一目で分かりやすいものとなっています。身近に感じた疑問を理科的視点につなげていくことに効果的であると考えます。「地球・宇宙／植物／動物／私たちのからだ／身近」の5つのテーマで「なぜ？」を展開しており、飽きずに最後まで興味をもって読み進められるようになっています。疑問に詳しく答えるだけでなく、内容に応じて実験観察や器具の扱い方に関連した科学の分野で活躍する人や仕事の紹介なども掲載されています。幅広い発達段階の生徒が読めるように、全ての漢字にフリガナがつけられており、愛着のもてるキャラクターをつかって、話し言葉で疑問や解説が表記され、身近に感じて学べる工夫がされています。親しみが持てるフォントによる疑問点と解説との区別がされ、文字の大きさ、太さ、色などを駆使し、書かれている内容が分かりやすい、かつ大切な用語が印象に残り覚えやすくなっています。印象に残るビジュアル紙面でダイナミックに展開されており、読み進めたくなる工夫がたくさんされています。以上です。

【南出委員】　ただ今、説明がありました中学校の特別支援学級について、ご質問等はございませんか。瀬古委員どうぞ。

【瀬古委員】　今の説明の中で、社会科の「楽しく学んで力がつく！こどもの世界地図」について、ウクライナの首都がキエフからキーウに変更になっていると思いますが、この教科書ではまだキエフのままです。地図もそうですし国旗カードの裏面の内容も変わっていません。文科省の検定本については直っているので、特別支援学級で使うものでも一般図書を使う以上、この辺りは留意すべきだと思いますが、見解をお聞きしたいと思います。

【井関教育部次長】　帝国書院の教科書はキーウに修正されていますし、もう一つの教科書は括弧書きで「キーウ（キエフ）」と表記されているので修正ができていますが、この一般図書について、この間までの協議会内ではそこまでの話は出ておりませんでした。ただ、今おっしゃっていただいたことについては、この出版社に質問するなり質問してみたいと思います。また第二採択地区協議会の事務局は草津市ですので、草津市にもこのご意見については報告させていただいて、対応していきたいと思います。

【瀬古委員】　分かりました。

全体を通して、印象などを最後に申し上げておきます。今回の教科書選定では、理科は啓林館から東京書籍に変更になり、生活科も啓林館から東京書籍に、保健はＧＡＫＫＥＮから東京書籍に、英語は東京書籍から光村図書と、4教科で出版社が変更になっているわけですが、資料などの評価点を見ると、いずれも僅差であると。現場で教える先生方が慣れ親しんできた教科書を変更するほどの理由がないのではないかと私は感じます。特に英語です。中学校では東京書籍のニューホライズンズだと思いますが、小学校高学年から英語を習い始めて中学校とは違う教科書だと戸惑いが出るのではないかと。先生も東京書籍から東京書籍になるほうがスムーズなのではないかと思います。光村図書に変更するということに少し違和感があります。

【井関教育部次長】　　ご意見ありがとうございます。調査委員長からの報告では、変わる教科書については「そういう変化もあるので、その点も十分に考えて調査をした」と。「厳密な調査の結果このような結果になりました」という説明はありました。ただ、おっしゃっていただいたご意見につきましても事務局である草津市に報告をさせていただきます。

【南出委員】　　他にご質問等はございませんか。ないようですので、これより採決に移ります。

議案第44号、令和6年度使用教科用図書の採択につき議決を求めることについて、賛成の方の挙手をお願いします。

（賛成者挙手）

【南出委員】　　挙手全員であります。よって、議案第44号は可決されました。

次に日程第 4 その他事項に移ります。何かございますか。よろしいですか。ないようですので、これをもちまして本日の会議を閉会いたします。お疲れ様でした。

―― 了 ――